

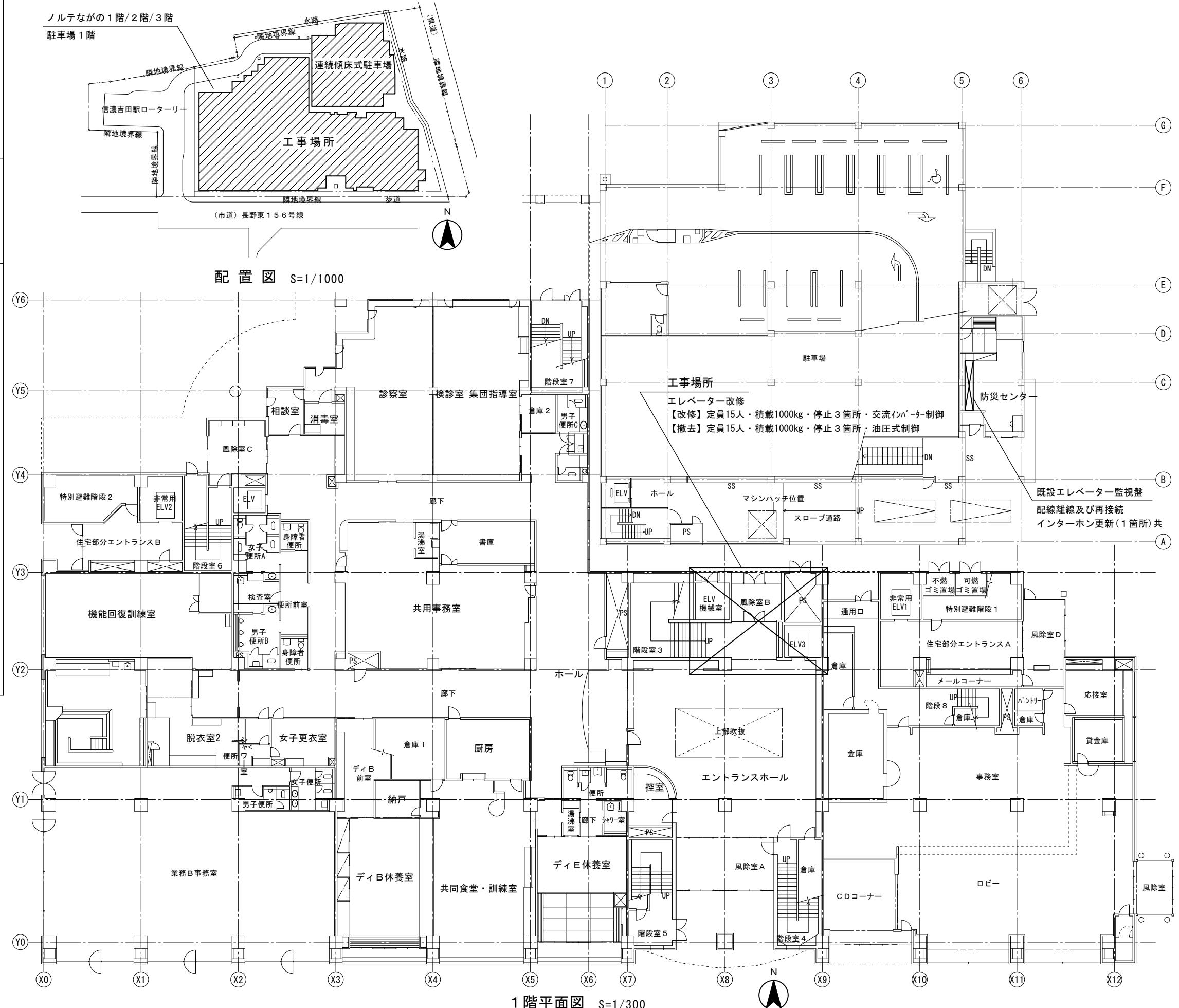
0市債 ノルテながのエレベーター改修工事		設計図				
特記仕様書						
I. 工事概要						
1. 工事場所 長野市 吉田三丁目						
2. 建物概要						
建物名称	構造	階数	延べ面積 (m ²)	消防法施行令別表第一	耐火構造	備考
ノルテながの	R C	地下1階/13階	25,578.00	(15)	耐火	改修
3. 工事種目 (●印を付けたものを適用する)						
建物別及び屋外工事種目		工事種別				
○ 空気調和設備	ノルテながの					屋外
○ 換気設備						
○ 自動制御設備						
○ 衛生器具設備						
○ 給水設備						
○ 排水設備						
○ 給湯設備						
○ 消火設備						
○ 廊下設備						
○ ガス設備						
○ 排水処理設備						
● 撤去工事	一式					
● 昇降機設備	一式					
○ 電気設備工事						
○ 建築工事						
○						
4. 指定部分 ○無 有 (○部分しゅん工 ●部分使用)						
1回目(令和8年8月下旬) : エレベーター						
5. 工事内容						
工事概要						
本工事は、ノルテながののエレベーターを改修するものである。						
工事にあたっては、関係者と十分に打ち合わせを行い、施設運営に支障のないよう施工計画を立て、施工時に配慮すると共に安全管理に万全を期すること。						
なお、契約款10条第3項に規定する「現場代理人の常駐を要しないことができる」期間は、施設等に影響が出ないように打合せにより決定する。						
I 昇降機設備工事						
1 エレベーター設備						
図示のとおり、昇降機設備を改修するもの。						
2 撤去工事						
図示のとおり、撤去を行うもの。						
なお、工事に伴う発生材については、請負者の責任において関係法令に則り適正処分すること。						

章	項目	特記事項	
● 一般共通事項	● 電気保安技術者	工事現場におく電気保安技術者は、工事担当技術者の職務を補佐し、電気工作物の保安の業務を行ふものとする。	● アスベスト含有建材の事前調査
	○ 技能士の適用	○ 配管施工(配管工事) ○ 建築板金施工(ダクト製作および取付け) ○ 熱絶縁施工(保温工事) ○ 冷凍空気調和機器施工(冷凍空調機器の据付)	
	○ 監督員事務所	○ 設けない ○ 設ける	○ アスベスト含有建材の改修
	○ 工事用電力・水・その他	この工事に必要な工事用電力、水及び諸手続などの費用は、すべて受注者の負担とする。	● 週休2日工事の対象
	● 足場・さん橋類	○ 別契約の関係請負者が定置したものは無償で使用できる。 ● 本工事で設置とする。	● 耐震措置
	○ 建設発生土の処理	○ 現場説明書による ○ 構外搬出適切処理 ○ 構内指示の場所にたい積 ○ 構内指示の場所に敷き均し 参考搬出先(住所:長野市) 想定残土運搬距離(km) 想定土質区分(第種発生土) なお、参考処分場以外に搬出する場合(自社処分地、無償処分地、参考処分地での受け入れが不可により他の有料処分地)や土質区分が想定と異なる場合は変更協議の対象とする。	
	○ 埋め戻し土・盛土	○ 根切り土の中の良質土(ただし管の周囲は山砂、川砂又は再生砂) ○ 山砂の類	
	● 資材の保管	● 資材の保管は、必ず屋根をかけ地上30cm以上の架台に乗せる。	
	● 火災保険等	● 工事目的物及び工事材料に適用する。(工期+14日間)	
	○ 他工事又は他工種との取扱い	設備機器の位置、取扱い等の検討のできる施工図を提出して、監督職員の承諾を受ける。	
	● 施工調査	(1) はつり工事は、事前に走査式埋設物調査を行い、監督職員に報告を行うこと。 (2) 既設壁等の貫通は、鉄筋探査を行い、軸体を痛めないよう配慮すること。	
	● あと施工アンカー	あと施工アンカーを施工する作業者は、一般社団法人日本建築あと施工アンカーアソシエーションの資格を有する者又は充分な技能及び経験を有した者で、監督職員が認めた者とする。施工後の確認試験は監督職員の指示による。	
	● 防火上主要な間仕切り壁等の貫通処置	防火上主要な間仕切り壁等を貫通する場合は、国土交通省認定工法にて防火区画貫通処理を行うこと。	
	● 化学物質を放散させる機材等	本工事の建物内部に使用する機材等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有すると共に、次の(1)から(5)を満たすものとする。 (1) 合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、仕上げ塗材及び壁紙は、ホルムアルデヒドを放散させないか、放散が極めて少ないものとする。 (2) 保温材、緩衝材、断熱材は、ホルムアルデヒド及びスチレンを放散させないか、放散が極めて少ないものとする。 (3) 接着剤はタル酸ジーネーチル及びタル酸ジーエチルヘキシルを含有しない難揮発性の可塑剤を使用し、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを放散させないか、放散が極めて少ないものとする。 (4) 塗料はホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを放散させないか、放散が極めて少ないものとする。 (5) 上記(1)、(3)及び(4)の機材を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器等は、ホルムアルデヒドを放散させないか、放散が極めて少ないものとする。 なお、ホルムアルデヒドを放散させないものとは放散量が規制対象外のものを、ホルムアルデヒドの放散が極めて少ないものとは放散量が第三種のものをいい、原則として規制対象外のものを使用する。ただし、該当する材料等がない場合は、第三種のものを使用するものとする。 また、「ホルムアルデヒドの放散量」は、次のとおりとする。	● 提出書類
	ホルムアルデヒド	該当する機材等	
	規制対象外	①JIS及びJASのF☆☆☆☆品 ②建築基準法施行令第20条の7第4項による国土交通大臣認定品 ③下記表示のあるJAS適合品 a. 非ホルムアルデヒド系接着剤使用 b. 接着剤等不使用 c. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない材料使用 d. ホルムアルデヒドを放散させない塗料等使用 e. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない塗料使用 f. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない塗料等使用	
	第三種	①JIS及びJASのF☆☆☆品 ②建築基準法施行令第20条の7第3項による国土交通大臣認定品 ③旧JISのE品 ④旧JASのFc品	● 総合調整
	● 施工図及びしゅん工図等の取扱い	施工図及びしゅん工図等の著作権に係る当該建物に限る使用権は、発注者に移譲するものとする。	
	○ 配管		● 容量等の表示
	○ 絶縁継手		
	○ 地中埋設標等		
	○ フレキシブルジョイント		
			アスベスト含有建材の撤去に当たり、石綿障害予防規則第3条の規定に基づきあらかじめ事前調査を建築物石綿含有建材調査者が行うこと。調査は、「建築物の解体等に係る石綿飛散防止対策マニュアル」及び「建築物等の解体等の作業及び労働者が石綿等にはばく露するおそれがある建築物等の労働者の石綿ばく露防止に関する技術上の指針に基づく石綿飛散漏洩防止対策徹底マニュアル」を参考に行うこと(書面調査及び現地調査)。また、石綿に関する事前調査結果を石綿事前調査結果報告システムにより報告すること。
			特定化学物質等作業主任者技能講習(旧制度)又は石綿作業主任者技能講習を修了した者のうちから、石綿作業主任者を選定し、施工要領書を作成の上適正に作業にあたること。
			発注者指定型の週休2日工事の対象工事である。
			● 月単位の週休2日 ○ 通常の週休2日
			設備機器の固定等は、すべて「国土交通省国土技術政策総合研究所・独立行政法人建築研究所監修の建築設備耐震設計・施工指針2014年版」により行う。ただし、設計用水平震度KHN及び設計用鉛直震度KV(KHN/2)を用いて計算する。設計用水平地震力と設計用鉛直地震力は同時に作用するものとする。
			設計用標準水平震度
	設置場所	機器種別	特定の施設 一般の施設
		重要機器 一般機器	重要機器 一般機器
上層階	機器	2.0	1.5 1.5 1.0
屋上及び塔屋	防振支持の機器	2.0	2.0 2.0 1.5
	水槽類(※1)	2.0	1.5 1.5 1.0
中間階	機器	1.5	1.0 1.0 0.6
	防振支持の機器	1.5	1.5 1.5 1.0
	水槽類(※1)	1.5	1.0 1.0 0.6
地下・1階	機器	1.0	1.0 1.0 0.6
	防振支持の機器	1.0	1.0 1.0 0.6
	水槽類(※1)	1.5	1.0 1.0 0.6
	【備考】	(※1) : 水槽類には、オイルタンク等を含む。 特定の施設は避難所に指定されている施設 重要機器は次のものと示す。 ・給水装置・排水装置・換気機器・空調機器・熱源機器 ・防災設備・監視制御設備・危険物貯蔵装置 ・火を使用する設備・避難経路上に設置する機器 上層階の定義は次による。 2~6階建の場合最上階、7~9階建の場合は上層2階、10~12階建ての場合は上層3階、13階以上の場合は上層4層とする。	
	(1) 着工前	施工計画書	2部
	(2) 施工中	施工図、機器納入仕様書(見本品を含む)	2部
	(3) しゅん工時		
	しゅん工届	工事用アルバム	1部
	しゅん工写真	工事用アルバム	1部
	工事記録簿	工事日誌	1部
	施工計画書	合計記録、工事日誌	1部
	社内検査報告書	承諾を受けたもの	1部
	各種届出書	中間検査含む	1部
	機器納入仕様書	承諾を受けたもの	1部
	施工図	CADデータ共	1部
	しゅん工図	CADデータ共	1部
○ しゅん工図	見開きA1 1部	見開きA3 3部	
● 保全マニュアル	機器設定データ類とも(交換機等)	2部	
	取扱説明書	別ファイルとする	2部
	工具・予備品	監督職員の指示による	
	※CADデータについては、JWCAD形式(JWW)又はCAD交換標準(SXF)Ver.2.0以降形式(P21又はSFC)で保存したデータを、電子媒体又は監督職員の指示による方法で提出する。		
	※製本については、白焼きとし、背表紙に年度と工事名、表紙に年度、工事名、設計者名、工事管理者名、施工者名、工期しゅん工日を印刷する。		
	※他工事が別途発注されている場合は、監督職員の指示により総合版とする。		
	● 本工事(調整項目は下記のものとする。)		
	○ 風量調整 ○ 水量調整 ○ 空調室内機吹出し及び外気の温度測定 ○ 驚音測定		
	○ 別途とする。		
	○ 飲料水の水質測定(○ 水質検査11項目(一般細菌、大腸菌、硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素、塩化物イオン、有機物等(TOC)、pH、味、臭気、色度、濁度)○トルエン)		
	※飲料水の水質測定は厚生労働大臣登録水質検査機関とする。		
	○ 給水配管末端での残留塩素測定		
	● 昇降機運転調整		
	(1) 機器類の能力、容量等は表示された数値以上とする。		
	(2) 電動機出力、燃料消費量、圧力損失は、原則として表示された数値以下とする。		
	溶接部の非破壊検査 ○ 要()		
	取り付け箇所は図示による。		
	(1) 地中埋設標 ○ 要(図示の箇所) ○ 不要		
	(2) 埋設表示用テープ ○ 要(排水管を除く) ○ 不要		
	○ 圧送管に使用するフレキシブルジョイントは、可とう性に加え、防振性を合わせ持つものを選定すること。		
	○ 建設者 中村 安志	工事設計図	発注図 R8.01.20
	一級建築士登録 第284030号	特記仕様書(1)	令和7年度
	長野市建設部建築課	画面番号 M-01	

● 撤去工事	● 撤去内容	● 撤去内容は図示による。
	● 発生材の処理	<input type="radio"/> 特別管理産業廃棄物は (○ ○ ○)とする。 <input type="radio"/> 再資源化を図るものは (○ ○ ○)とする。
	○ フロン回収	● 構外搬出適法処理をし、マニフェストA票、E票の写しを提出する。 なお、少量(2t車1台程度)の場合は、自社保管場所にて保管後適正処分も可する。 <input type="radio"/> 業務用冷凍空調機器の廃棄については、関係法令に基づき行程管理制度によ 登録業者にフロン回収運搬をさせ、許可業者に処理を行わせ、委託確認書及 取証明書の写しを提出する。
● 昇降機設備	<input type="radio"/> 定員・積載 <input type="radio"/> 速度・停止箇所 <input type="radio"/> その他	15人 1000kg 60m/min 3箇所(1階~3階)
● その他	<input type="radio"/> 情報共有システム <input type="radio"/> 電子納品に関する事項(試行) <input type="radio"/> 申請及び届出	<p>本工事は、情報共有システムを利用できる工事である。利用にあたっては、長野市情報共有システム実施要領により行う。</p> <p>利用するシステムは「長野市情報共有システム機能仕様書」を満たすものから登録され、登録されたものが選択し、事前に監督員の承認を受けるものとする。</p> <p>情報共有システム利用に要する費用(登録料及び利用料)は、共通仮設費の積み上げによる算定とし、設計変更により対応する。</p> <p>● 適用する ○ 適用しない(国庫補助事業による工事) 納工書類の電子納品について、受注者が電子媒体の提出を希望し、発注者(長野市の工事担当課)がこれを認めた場合に適用する。 電子納品は「工事書類の電子納品に関する運用の手引き」に基づくものとする(面関係、写真関係のみ)。なお、電子納品における書類の作成費用等は工事費の経費(共通仮設費の率分)に含まれ、検査に要する費用においても受注者の負担する。</p> <p>● 申請及び届出</p> <p>本工事に係る申請及び届出の要不要を取りまとめ、工事着手前に監督職員に報告の提出を行うこと。また、申請先で不要と判断されたものについては、回答の提出及び申請先の担当者を明記すること。</p> <p>(1) 空気調和・換気・給湯設備 <input type="radio"/> 『長野市公害防止条例』に伴う騒音に係る特定施設の届出 - 空気圧縮機及び送風機(原動機の定格出力3.75kW以上7.5kW未満) - 冷凍冷蔵用ガス圧縮機(原動機の定格出力7.5kW以上) - 空調用ガス圧縮機(原動機の定格出力7.5kW以上) <input type="radio"/> 『長野市火災予防条例』に関する届出</p> <p>(2) 給水・排水設備 <input type="radio"/> 長野市上下水道局『給水装置・排水設備工事指針』に従う各種申請 - 給水装置工事確認票及び排水設備工事確認票の掲示 <input type="radio"/> 長野県企業局『給水装置設計施工基準』に従う各種申請 <input type="radio"/> 作業の騒音・振動に関する特定建設作業の届け出(バックホウ等の使用)</p> <p>(3) 消火設備 <input type="radio"/> 消防法上規定されている申請・届出・検査</p> <p>(4) 撤去工事 <input type="radio"/> アスベスト除去作業の届出</p> <p>(5) 昇降機設備 <input type="radio"/> 昇降機設備 計画通知書(昇降機)・確認申請書(昇降機)</p>



案 内 図 S=N0



設計者 中村 安志
一級建築士登録 第284030号

〇市債 ノルテながのエレベーター改修

工事設計図

発注図
R8. 01. 20

特記仕様書（2） 案内図 1階平面図

令和7年度

図面番号
M-02

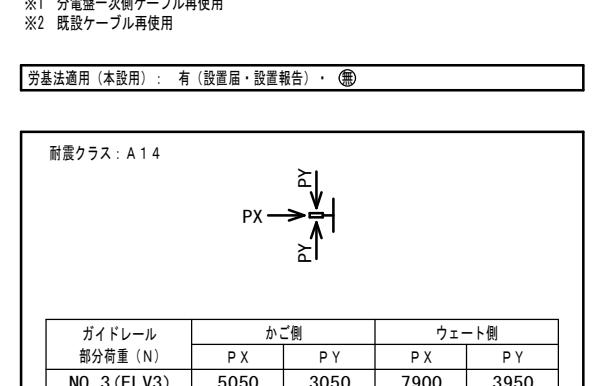
エレベーター仕様	
機器名	NO. 3 (ELV3)
型式(参考品番)	日立機械室レスアーバンエースHF P-15-C060
用途	乗用兼車いす用
定格積載質量/定員	1000kg/15人.乗
定格速度	60m/min
運転方式	乗合全自动方式(乗り捨て方式)
制御方式	インバータ制御方式(マイコン制御、愛情アナウンス付)
停止階	3箇所(1~3階)
かご寸法	間口1600mm 奥行1500mm 天井高さ2250mm
出入口寸法	幅900mm 高さ2100mm
戸型式	2枚戸中央開き
電動機	AC 6.2kW
動力用電源	AC 3φ 200V 60Hz
照明用電源	AC 1φ 100V 60Hz
連絡装置	同時通話式インターホン(型式: EZ-05)
設置場所	設置場所: 1階 防災センター
監視装置	リモートメンテナンスインターフェース付
管制運転	地震 有り(P波およびS波感知)(リスタート機能付)
	火災 有り(火報連動接点による自動式および切替スイッチによる手動式)
	停電 有り
	自家発 無し
	♪♪冠水警報装置 有り
	ケアフルセンサー付
建物用途別 標準装備仕様	戸開走行保護装置
三方枠	1~3階 大枠 鋼板塗装仕上(既設再使用、再塗装)
縦枠	1~3階 小枠 鋼板塗装仕上
乗場戸	1~3階 鋼板塗装仕上
幕板	1~3階 無し
敷居	1~3階 便貫アルミ
ホールランタン	1~3階 無し
インジケーター	1~3階 級型デジタル表示(既設ケース再使用) カバー: ステンレスヘアライン仕上
ホールボタン	1~3階 抗菌凸文字ボタン(Φ45) (SIAA認証) インジケーターに組込
車いす用	1~3階 抗菌凸文字ボタン(Φ45) (SIAA認証)
ホールボタン	カバー: ステンレスヘアライン仕上(既設ケース再使用)
天井	サークルタイプ(Φ01) (天井照明色:白色)
前側板	化粧鋼板
側板	化粧鋼板
戸	化粧鋼板
出入口上部	化粧鋼板
床	荷重用樹脂タイル(2T)
幅木	化粧鋼板
敷居	硬質アルミ
操作盤	ボタン 抗菌凸文字ボタン(Φ33) (SIAA認証) カバー: 樹脂成型品
インジケーター	カラー液晶表示(背景色:白) 操作盤に組込
車いす用	ボタン 抗菌凸文字ボタン(Φ33) (SIAA認証)
操作盤	カバー: 樹脂成型品
気くばり	ボタン 無し
操作盤	カバー 無し
鏡	ステンレス製
ハンドレール	角形ハンドレール: アルミアルマイト仕上
監視盤	有り(自立型)(既設再使用)
耐震クラス	A14
既設再使用	三方枠、インジケーターケース
	車いす用ホールボタンケース
	中間ビーム
	監視盤

昇降機技術基準の解説 2016年版対応	
ビット深さ特殊	
音声案内装置付(緊急時4ヵ国語)	
防振対策付	
ドアシングル付マルチビームアセンサー付	
差焼性能付乗場戸(大臣認定番号: CAS-0216) (火災、停電付) (1~3階)	
ホールボタンフースブレート掛代増し	
車いす注意銘板付(模型) (1~3階)	
点字注意銘板付(模型)	
車いす仕様付	
視覚障がい者仕様付(全ての操作盤と乗場ボタンに点字銘板付)	
フェッシャブレート付	
メンテナンスサービス提供用メタリック(別途対応)	
かご内監視カメラ用昇降路内同軸ケーブル付	
車いす呼び戸開き時間延長	
一般呼び戸開き時間延長	
発音ボタン(かご)	
かご上下に着床予報電子チャイム付	
かごドア両側セーフティシュー付	
リモートメンテナンスインターフェース付	
新設品搬入	
絶縁トランスク付	
警報ブザーをかご上に取付	
非常ボタン連動 無電圧接点支給	
公共建築工事標準仕様書(R7)適用	
4mレール使用	
ステンレス材一式: SUS304	
かごと乗場の敷居間すきま10mm	

附帯工事内容		
No	附帯工事項目	建築 電気 本工事
1	1. ストックヤード他 各所養生作業	○
2	2. 撤去品細分化	△
3	(1) ブランジャー、メインレール、ブランジャーレール	○
4	(2) ブラットフォーム、かご	○
5	(3) 機械室品、油送配管	○
6	3. 搬去品搬出作業	△
7	(1) 搬出経路養生	○
8	(2) 足場材搬入	○
9	(3) 揚重機材設置、解体作業	○
10	(4) 乗場戸、敷居、ドアポケット	○
11	(5) 塔内電線、器具、ビット品	○
12	(6) かご内室、天井、ドアシン	○
13	(7) 主ロープ、ガバナーロープ、ブラット	○
14	(8) ブランジャー、ジャッキ含む	○
15	(9) 主レール、ブランジャーレール	○
16	(10) 機械室品	○
17	4. 新設品搬入	△
18	(1) 搬出経路養生	○
19	(2) 足場材搬出	○
20	(3) レール、マシン、床板、電線、器具関係	○
21	(4) 乗場戸、敷居、ドアポケット	○
22	(5) ロープ、ブラット、カウンターウェート	○
23	(6) かご内室、天井	○
24	5. 各種立会い	△
25	(1) 建築関連(はつり、カメラ取外し取付け)	○
26	(2) 官庁検査	○
27	6. 清掃作業(着工・引渡し前)	○
28	7. その他附帯工事	△
29	(1) 既存レール・ブラット・中間ビーム撤去、塔内補修作業	○
30	(2) 機械室既存油送管部穴塞ぎ作業	○
31	(3) 機械室床補修(軽微な補修)	○
32	(4) 共通回路切り離し及び卸組り替え工事	○
33	(5) 監視部切離し、接続及び確認	○
34	(6) エスレンプロック現地加工	○
35	(7) 各所小はづり作業	○
36	(8) 火報信号の切り離し・接続及び確認	○
37	(9) 火気作業に伴う監視	○
38	(10) かご内カメラ取外し	○
39	(11) フェッシャブレート加工取付	○
40	(12) 埋設物調査(簡易探査)	○
41	(13) 工事写真(施工前・中・後)	○
42	(14) 中間ビーム設置工事(溝形鋼125×65×6:8本)	○
43	(15) 完成図書作成	○

関連工事内容		
No	関連工事項目	建築 電気 本工事
1	【関連工事】	△
2	動力電源用配管配線延長工事(アース線含む)	○
3	照明電源用配管配線延長工事	○
4	インターホン用配管配線延長工事	○
5	既設機械室に分電盤(主、照明、アース)取付工事	○
6	ピット内コンセント移設工事	○
7	監視盤・遠隔監視用配線延長工事	○
8	電源線及び各種信号線延長工事	○
9	工事用仮設配管設置工事	○
10	各階エレベーター安全対策(仮囲い方式)	○
11	既設油圧作動油抜き取り作業	○
12	【油圧機械室及びピット開連工事】	△
13	機械室床既設ユニットベースはつり出し工事	○
14	機械室床既設ブルボックスはつり出し工事	○
15	機械室床既設配管・配線シガーコードはつり出し工事	○
16	機械室床防水堤はつり出し工事	○
17	機械室床補修&防塵塗装仕上げ工事	○
18	機械室吸音材撤去工事	除外
19	ガラ袋詰め片付け	○
20	ピット内機器はつり出し工事(ガラ袋詰め片付け含み)	○
21	ピット防塵塗装仕上げ及び撤去後の穴の埋め戻し修理工事	○
22	三方枠再塗装(大枠)	○
23	三方枠下地処理	○
24	各階乗場敷居はつり出し工事	○
25	各階乗場敷居設置後の床埋戻し及び仕上工事	○
26	各階造作用継続及び敷居設置工事(床間コーキング含む)	○
27	産業廃棄物処理	○
28	ピット反力の建築構造強度計算	○
29	ピット床の補強工事(検討結果強度が不足した場合)	除外
30	誘導員	○
31	足場リース・運搬	○
32	既設油送管両端塞ぎ工事(天井裏油送管は残置する)	○
33	埋設管探査	○
34	特殊搬出入(都度養生、重量搬入、機械機材設置含む)	○
35	安全対策	○
36	各階点字ブロック隠蔽及び点字シート設置	○
37	かご床仕上工事	○
38	対象建材のアスベスト含有調査	○
39	(既設機械室床モルタル、機械室・昇降路間耐火パテ、ケイ酸カルシウム板)	○
40	昇降路壁コンクリート、乗場三方枠及び敷居廻り補修モルタル、乗場壁材	○
41	床仕上げ材、ピット床防水モルタル	○
42		○
43		○

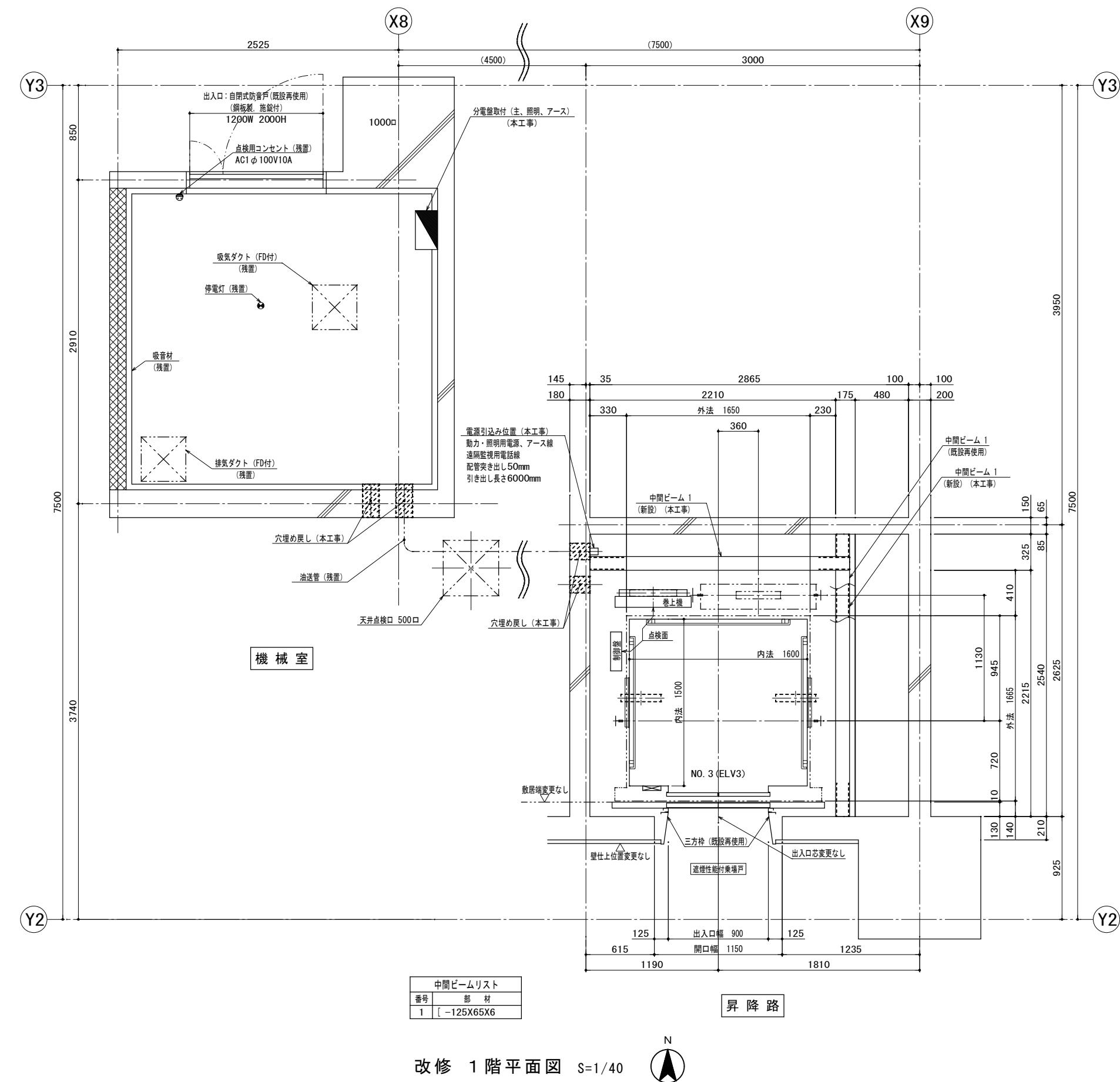
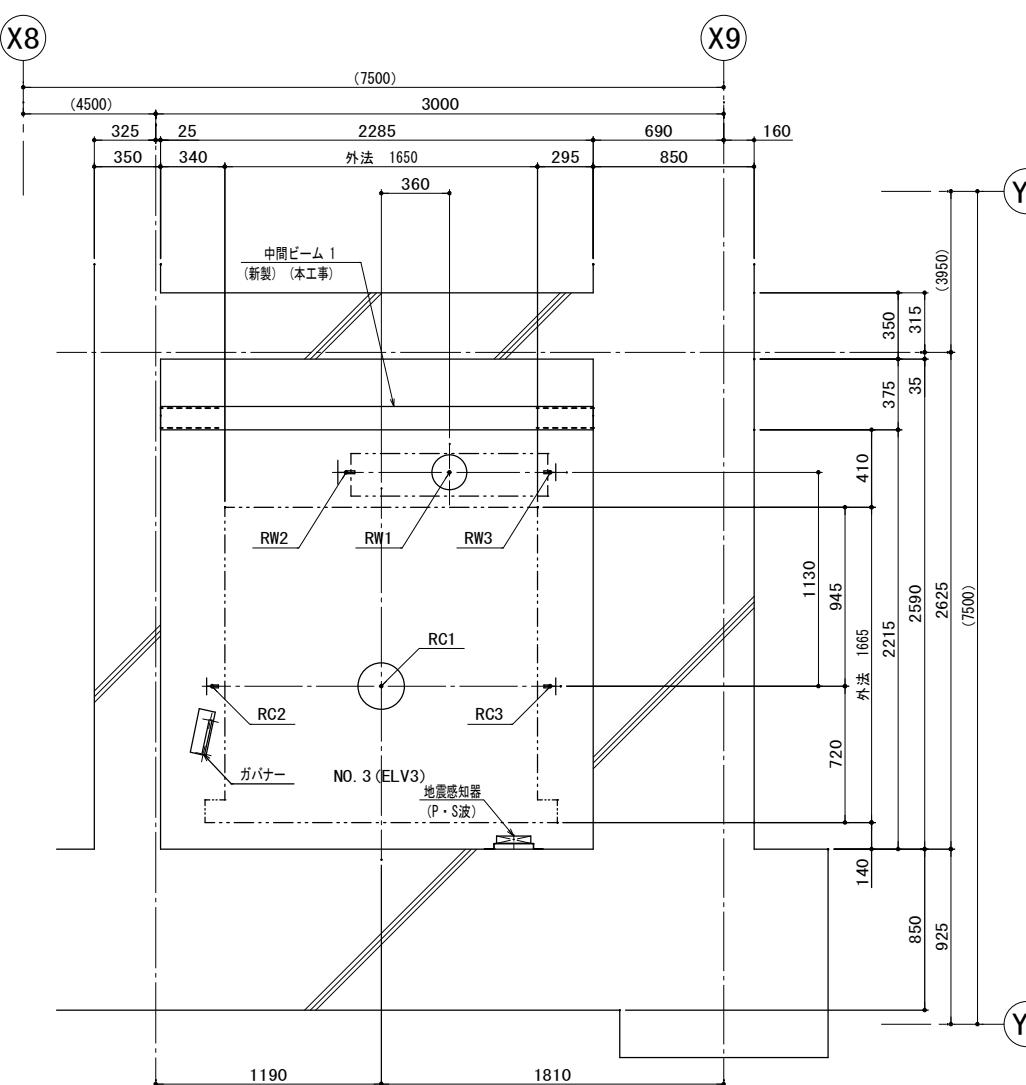
電気設備	
号機名	NO. 3 (ELV3)
電力用電源※1	AC 3φ 200V 60Hz 8mm²×1回路(EM-CET)/台 線サイズ(mm²) 8 14 22 (既設線サイズ38mm²)
最大引込距離(m)	52 89 135
MCB容量	50A/台以上
トランス容量	6kVA/台以上
起動KVA	20kVA/台
照明用電源※1	AC 1φ 100V 60Hz 2.0mm²×1回路/台 アース線※1 3.5mm²(D種)/台
インターホン用配管配線※2	EM-FCPEE 0.9-7P(延長)
リモートメンテナンス用配管配線※2	EM-CPEE 0.9-1P, 配管サイズΦ25(延長)
ピット点検用コンセント	AC 100V 10A ×1個/台(既設品活用)
火災警報信号無電圧a接点支給及び配管配線※2	印加電圧 DC24V 接点容量 1A/台(延長)
非常放送スピーカー用配管配線※2	EM-HP 1.2-3C/台(延長)
カメラ用配管配線(昇降路外)	同軸ケーブル 50 - 2V × 1本(延長)
監視盤用配管配線※2	既設再使用(機械室~昇降路まで延長)
注意事項	上記の配管配線はエレベーター制御盤から各設備ならびに機器の設置場所まで引込み

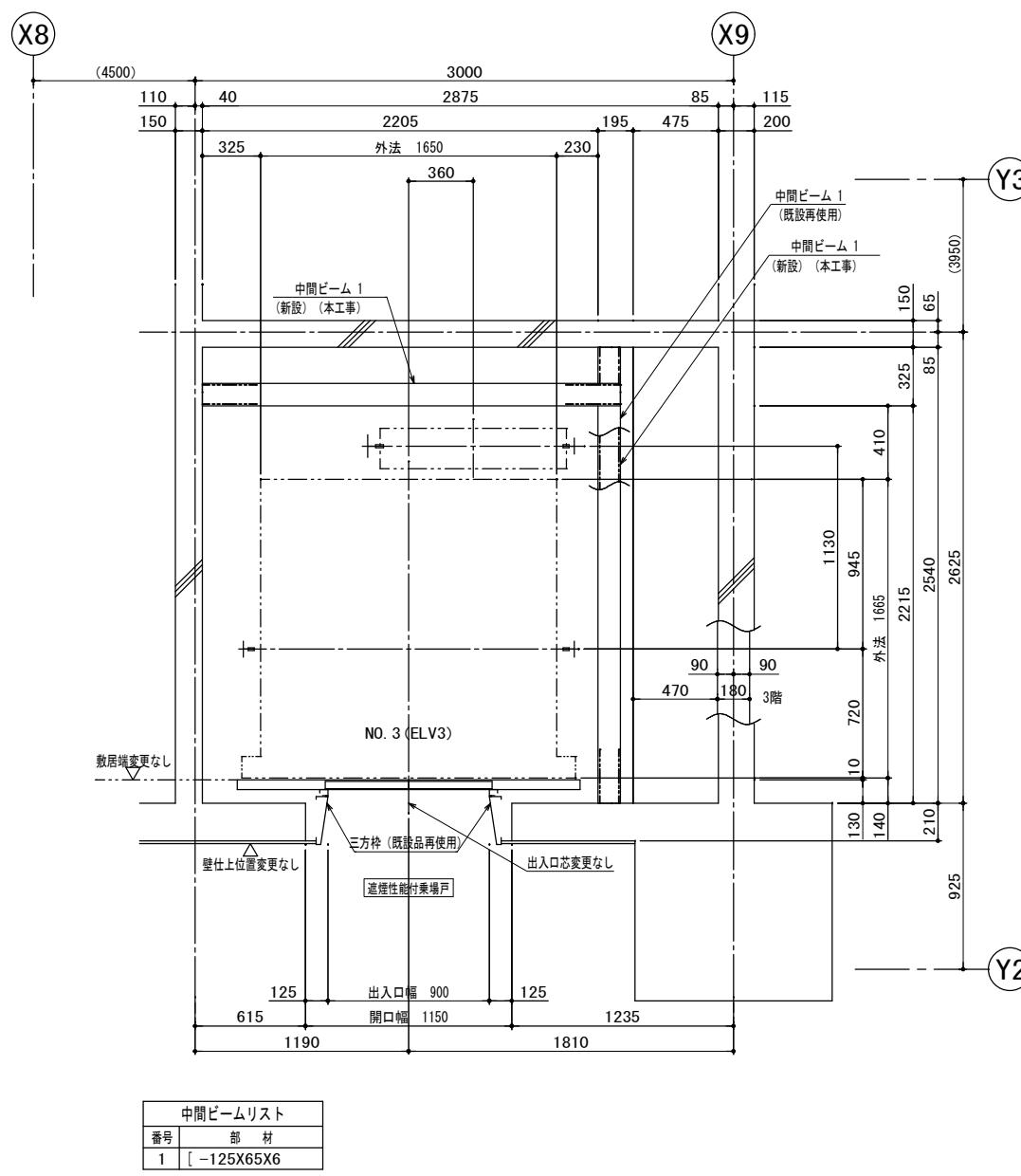


標準型エレベーターの荷役制限について

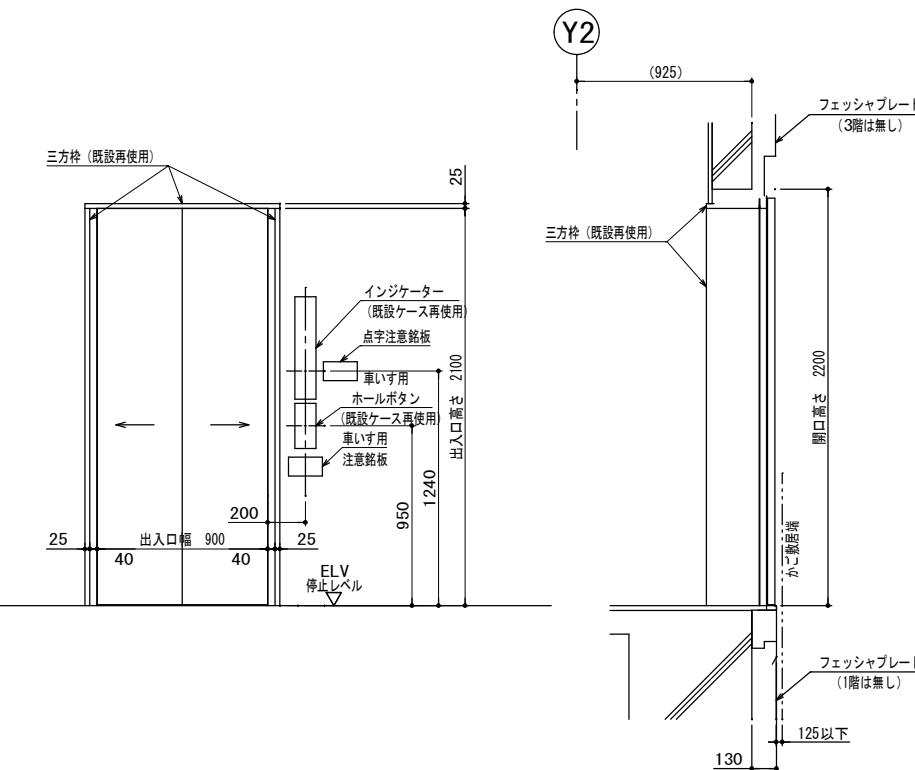
・軽台車などで荷物を運搬する場合には、250kg以下/回。

ピット反力値 (N)	短期荷重						長期荷重							
	号機名	RC1	RW1	RC2	RC3	RW2	RW3	号機名	RC1	RW1	RC2	RC3	RW2	RW3
NO. 3	99500	77000	24000	23500	45500	16500								

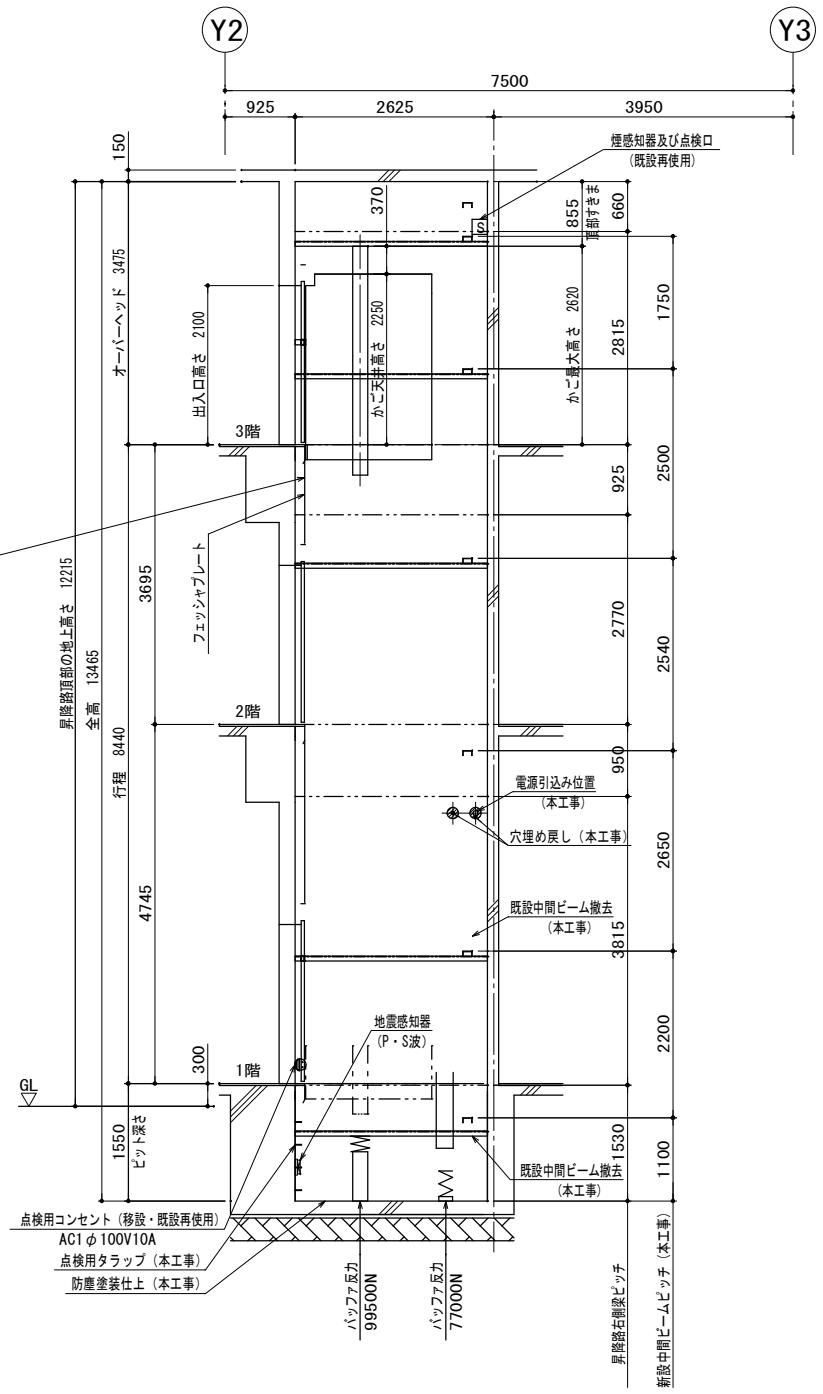




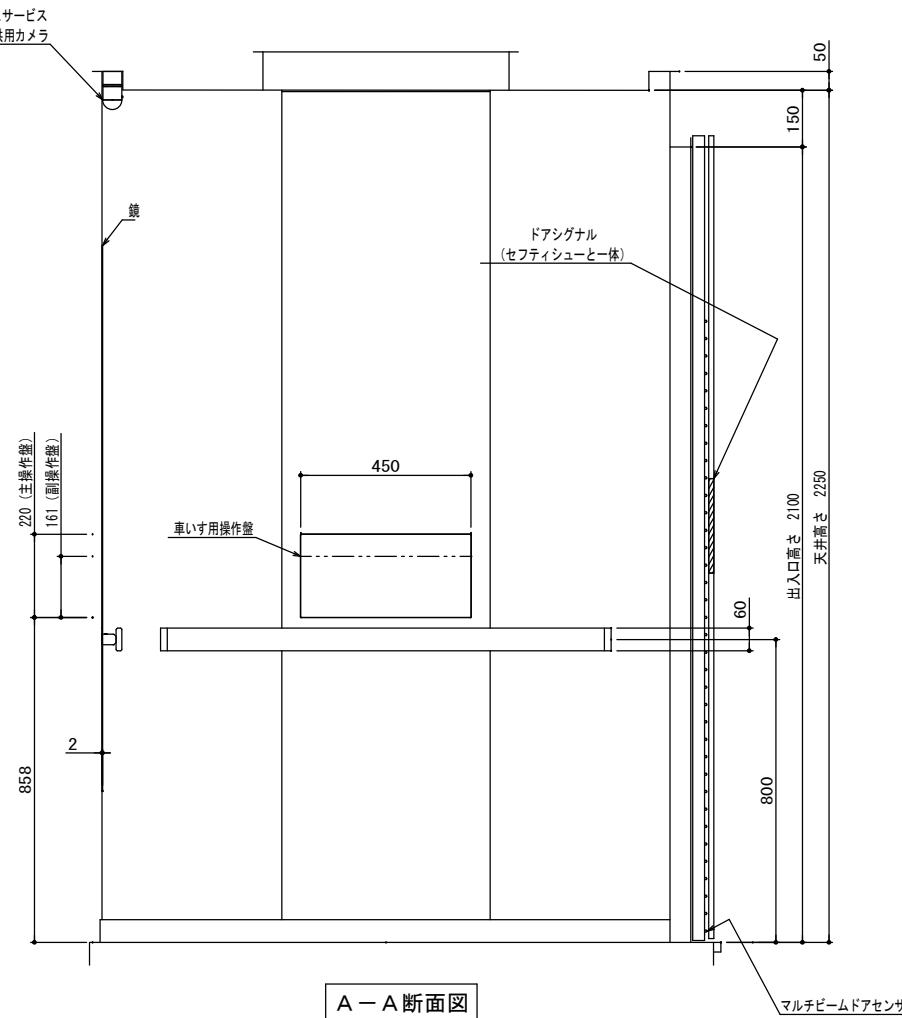
改修 2階 / 3階 昇降路平面図 S=1/4



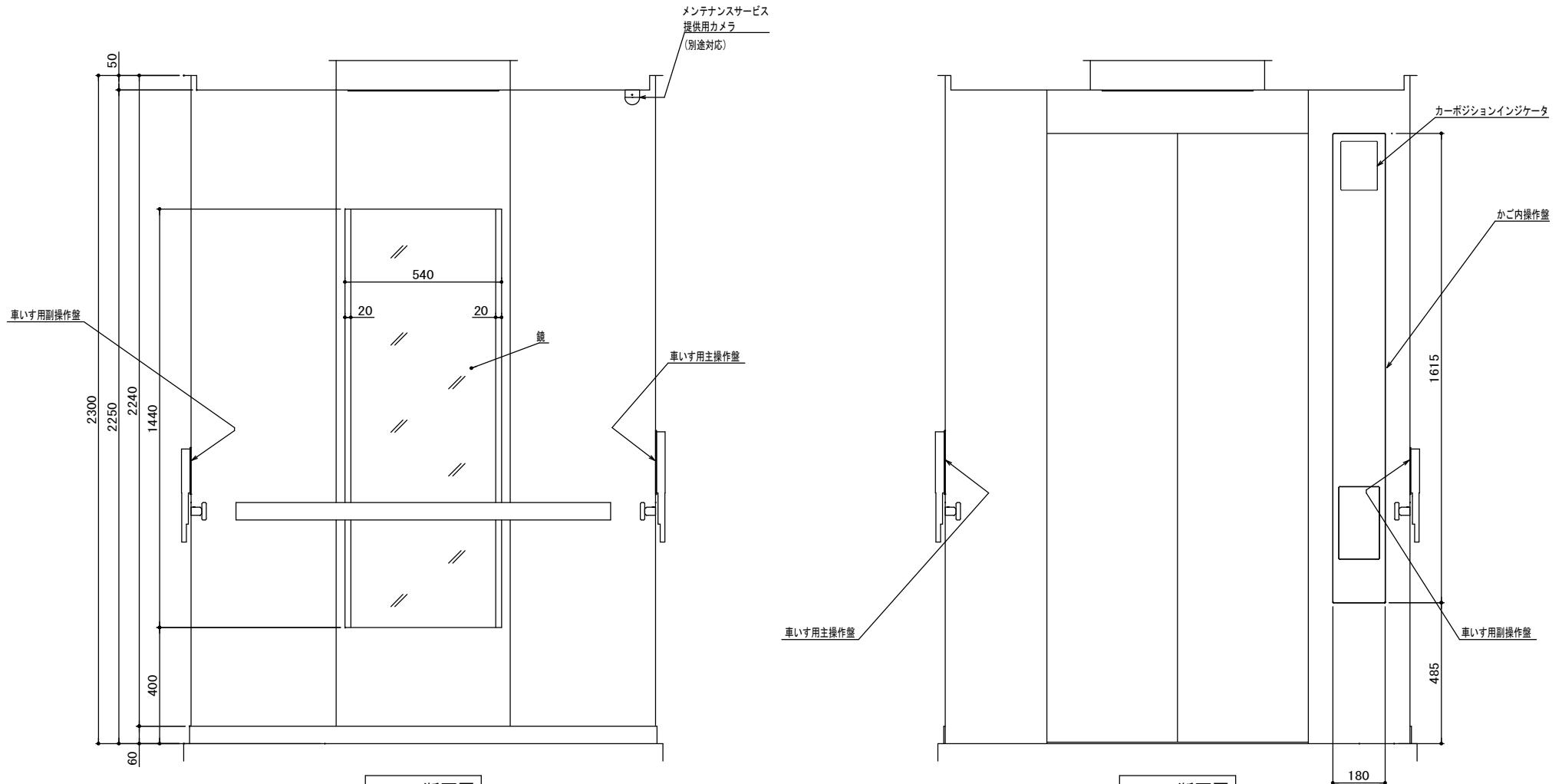
改修 出入口正面/断面図 S=1/40



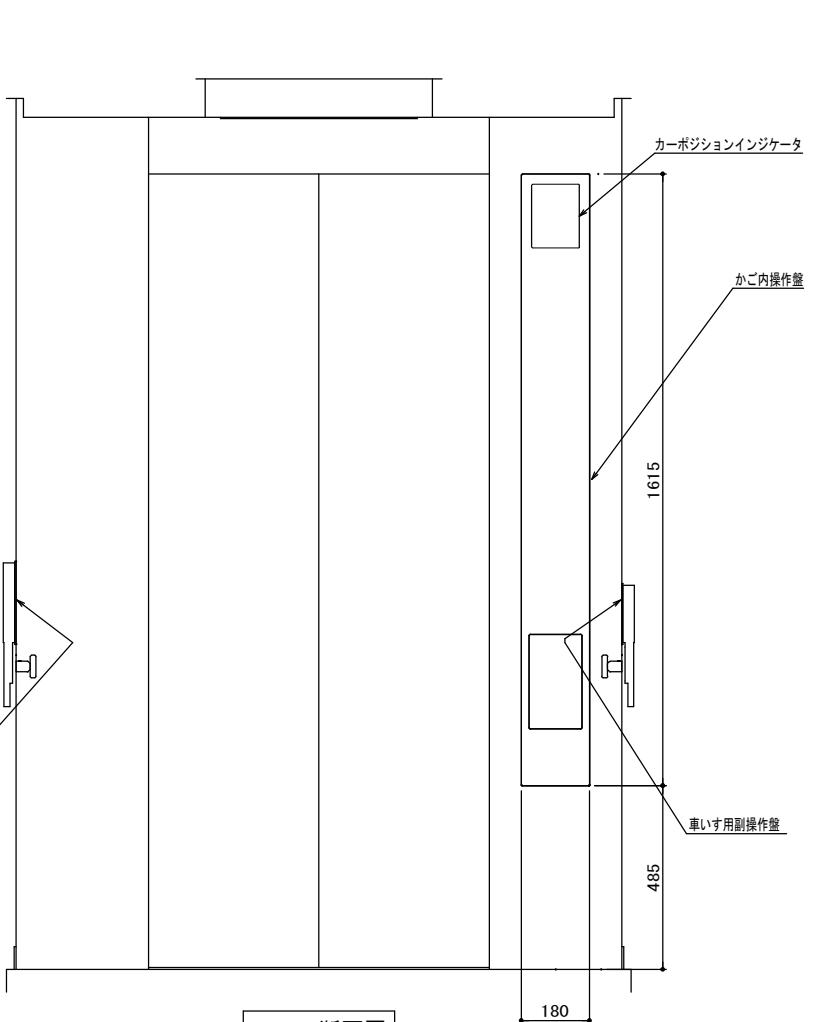
改修 昇降路断面図 S=1/100



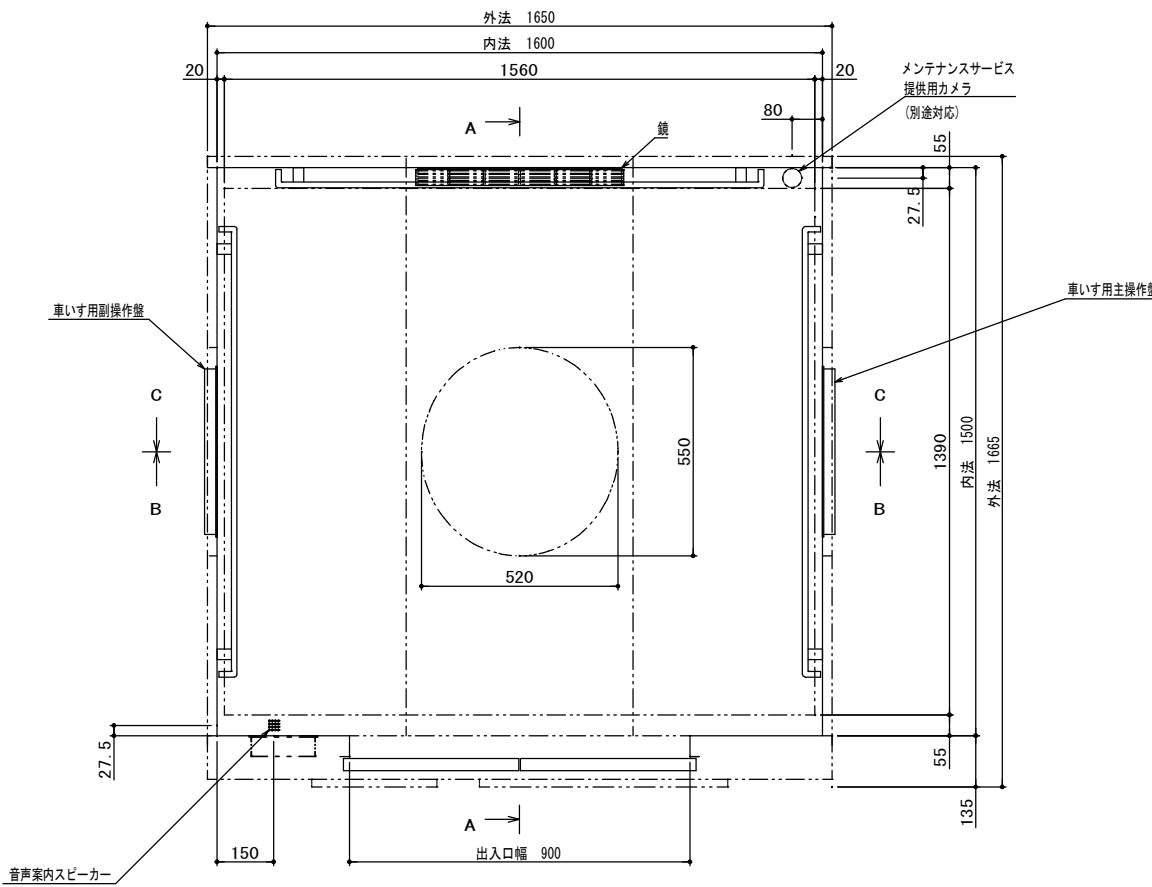
A-A 断面図



B-B 断面図



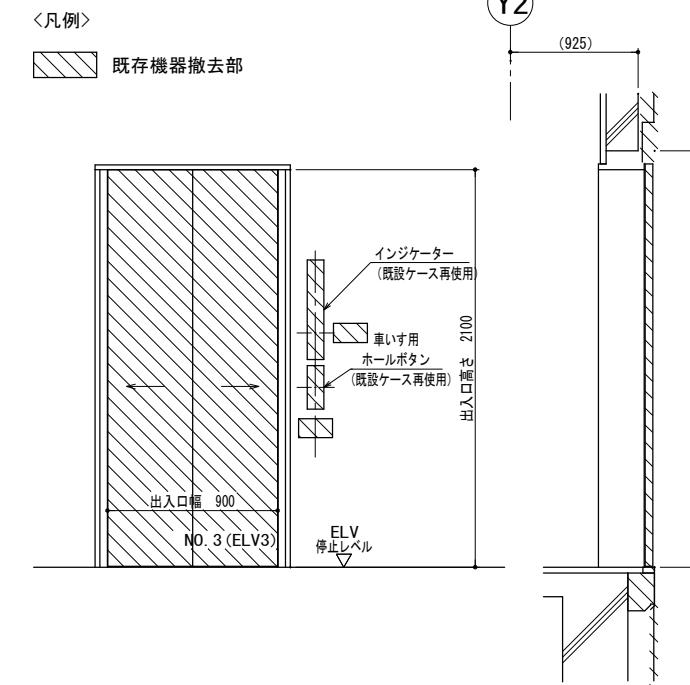
C-C 断面図



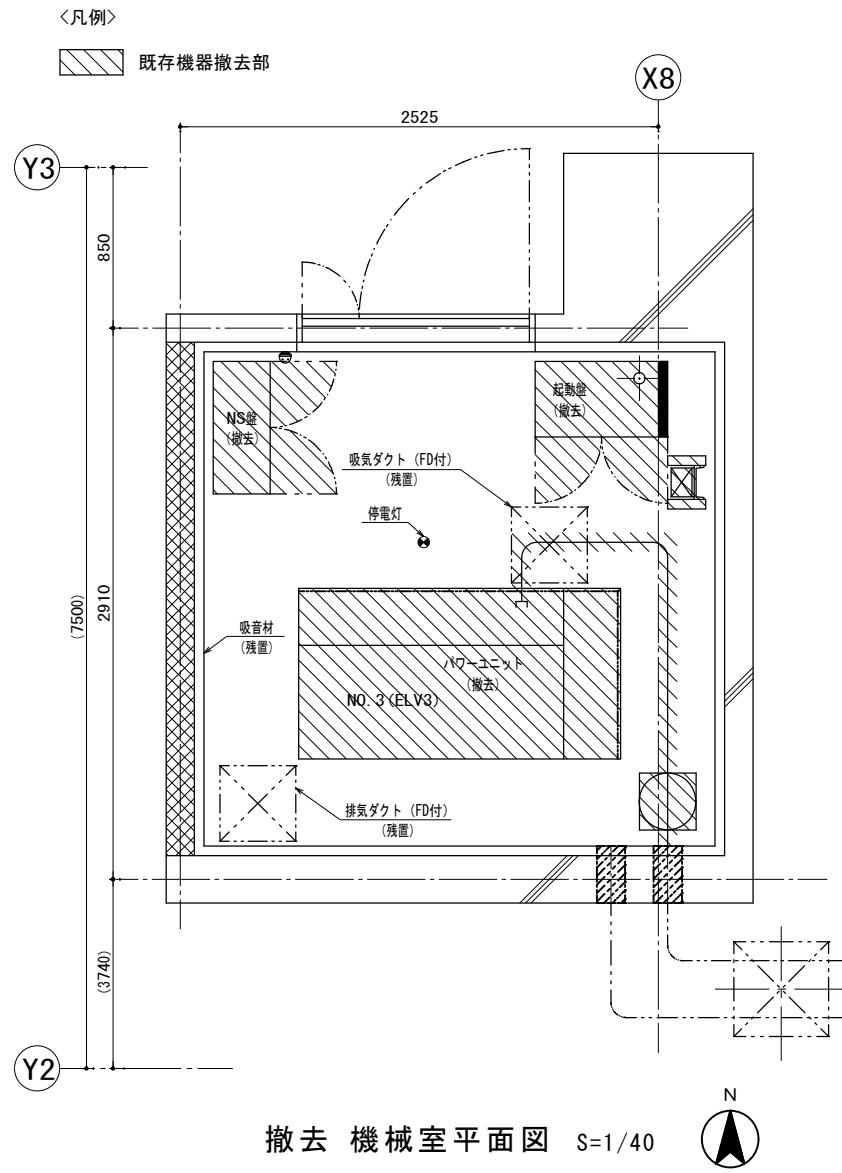
改修 かご意匠図 S-1/20

改修 かご仕様	
品名	仕様
前側板、出入口上部枠	化粧鋼板
幅木	化粧鋼板
側板、戸	化粧鋼板
天井	化粧鋼板
照 明	乳白色アクリルカバーLED照明 (天井照明色:白色)
停電灯	LED
換 気	ファン
床	荷重用樹脂タイル(2T)
敷 居	硬質アルミ
鏡	ステンレス鏡面(両面ヘアライン仕上)
ハンドレール	アルミアルマイト仕上
光電装置	ドアシグナル付マルチビームドアセンサー
天井換気ルーバー	ABS樹脂(グレー)
付属品	車いす仕様付、視覚障がい者仕様付 ケーブルセンサー付、両側セーフティーシュート付 音声案内装置付、着床予報電子チャイム付 メンテナンスサービス提供用カメラ付※ ※別途対応

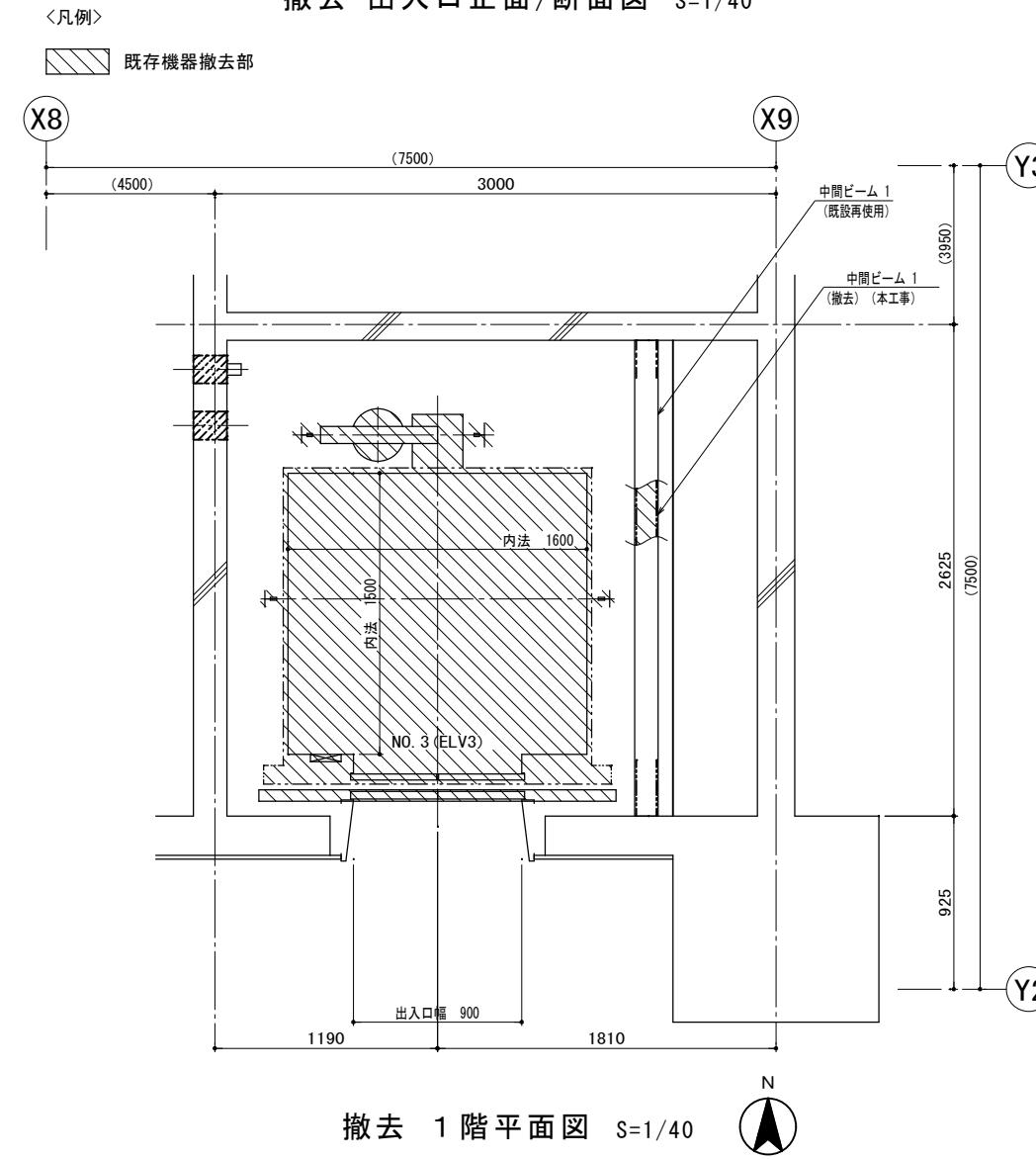
既設エレベーター仕様(撤去)	
号機名	NO.3(ELV3)
型式	HF-P-1000
用途	乗用兼車いす用
定格積載質量/定員	1000kg/15人乗
定格速度	60m/min
運転方式	乗合全自動方式(乗り捨て方式)
停止階	3箇所(1~3階)
寸法	間口1600mm 奥行1500mm 出入り口幅900mm 高さ2100mm
戸型式	2枚戸中央開き
電動機	AC 37kW
連絡装置	インターホン



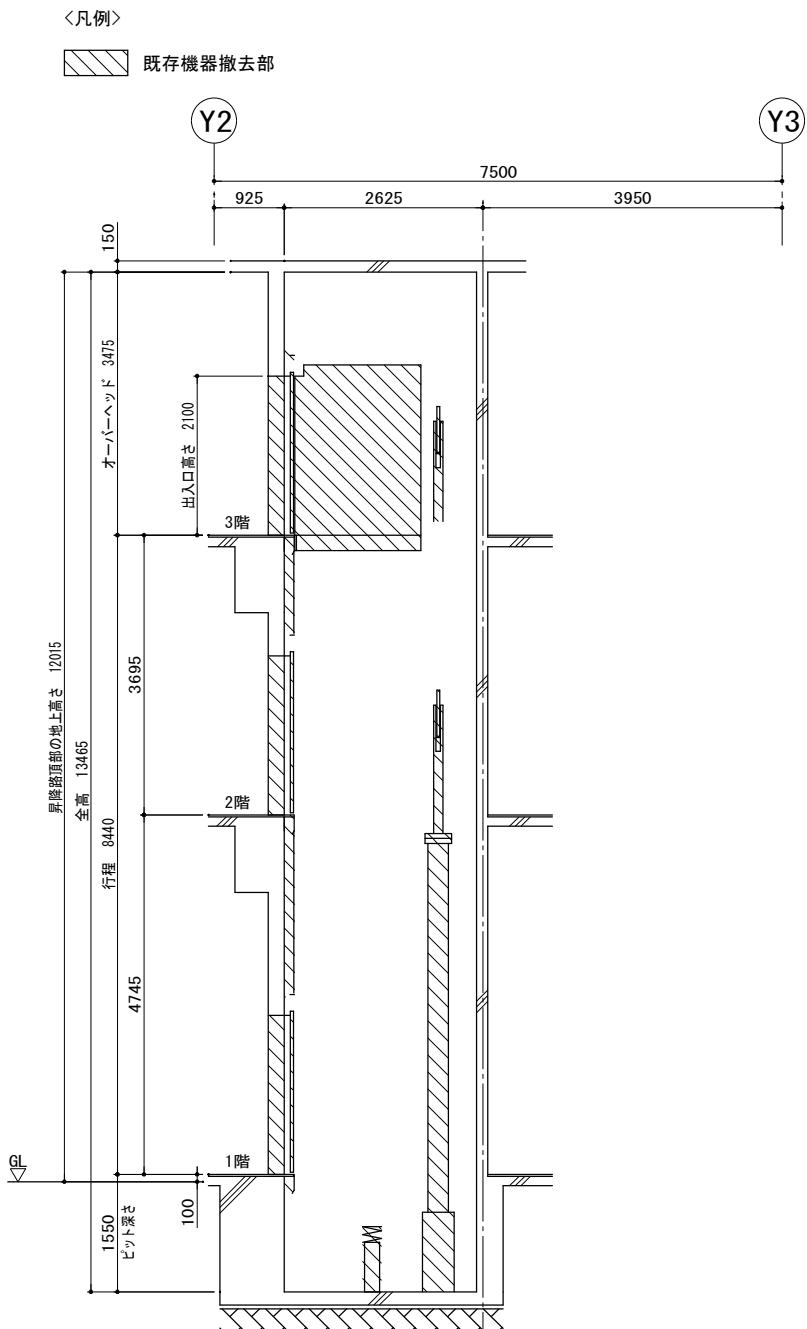
撤去 出入口正面/断面図 S=1/40



撤去 機械室平面図 S=1/40



撤去 1階平面図 S=1/40



撤去 昇降路断面図 S=1/100

設計者 中村 安志
一級建築士登録 第284030号

O市債 ノルテながのエレベーター改修

工事設計図

発注図
R8.01.20

撤去 機械室平面図 1階平面図外

令和7年度

図面番号
M-08

長野市建設部建築課